

サクラ 陽光



明るい花姿のサクラ「陽光」は、アマギヨシノとヒカンザクラを交配した、暑さ寒さにも病気にも強い品種。作者の高岡正明氏は戦時中、教師として「桜の木の下に帰ってこいよ」と多数の教え子を戦地に送ったことへの自責の念から、戦後、教え子の供養のために「陽光」を作出。苗木を作り続けて、2001年、92歳で亡くなるまでに約5万本を各地に寄贈し続けた。

お花見・データを公開中

ラパンアジールの自主調査「2011年お花見調査」をレポート

<http://research-lapin.seesaa.net/>

調査実施日：2011年4月22日～4月25日

対象：首都圏在住 20歳以上の男女

Q1 今年の「お花見」に、あなたがしたことについてお答えください。

(MA/16項目について、いくつでも回答可)

回答数：840名

2009年から始めたお花見アンケート、3回目になる今回は、対象者に「60歳以上」の年代を増やした。

また、項目を14項目から2項目追加し、16項目とした。加えた項目は「お花見を自粛した」「お花見しながら、酒を飲んだ」の2項目。

2009-2010-2011年を比較

お花見への関与は男女とも減少傾向にある。

◆「お花見の宴会をした」

男性 09年(20.6%)→10年(17.2%)→11年(6.2%)

女性 09年(11.6%)→10年(9.5%)→11年(3.8%)

◆「お花見の散歩をした」

男性 09年(47.8%)→10年(35.4%)→11年(27.9%)

女性 09年(57.6%)→10年(50.5%)→11年(38.1%)

◆「お花見しながら、弁当を食べた」

男性 09年(17.8%)→10年(10.7%)→11年(7.1%)

女性 09年(25.5%)→10年(12.7%)→11年(9.3%)

◆「お花見用の食べ物などをコンビニで買った」

男性 09年(9.7%)→10年(7.9%)→11年(2.6%)

女性 09年(7.8%)→10年(6.4%)→11年(2.9%)

◎2011年は、花見シーズン直前に東日本大震災が起き、被災地への配慮、東京都が管理する公園で宴会の自粛を求めるなどの自粛ムードがあった。この影響もあって、減少傾向は、「宴会」に止まらず、「散歩」でも大幅に減った。さらに「お花見しながら弁当」も減少し、食べ物の購入は「コンビニ」「スーパー」「デパ地下」「露店」とも減った。

◎2011年に回答が高かったのは「散歩」「自粛」「特に何もしない」の3項目。これを男女別年代別に比較すると、男性では年代が上がるにつれて「何もしなかった」が減少、「お花見の散歩」は増加する傾向がある。

男性 2011年

「特に何もしなかった」は、若い年代で高く、20代で60.7%



男性 60歳以上だけは、「お花見の散歩」(41.7%)が「何もしなかった」(39.3%)より高い。



男性 60歳以上は、30～50代に比べ「お花見を自粛」が少ない。



女性も 60歳以上だけは、「お花見の散歩」(48.8%)が「何もしなかった」(31.0%)より高い。

| 女性 2011年 | 「何もしなかった」 | 「散歩」 | 「自粛」 |
|----------|-----------|---------|---------|
| 20～29歳 | (48.8%) | (35.7%) | (9.5%) |
| 30～39歳 | (41.7%) | (40.5%) | (2.4%) |
| 40～49歳 | (52.4%) | (27.4%) | (13.1%) |
| 50～59歳 | (46.4%) | (38.1%) | (11.9%) |
| 60歳以上 | (31.0%) | (48.8%) | (9.5%) |